



CITY WATCHING

クローズアップ CLOSE UP

桜に彩られて春本番

4月2日に桜が開花した本市。見頃を迎えると前橋公園などの名所に今年も多くの人たちが訪れました。また、4月5日・6日には全国さくらサミットを開催。桜によるまちづくりを推進する自治体が参加し、共通課題の協議や記念植樹などを行いました。



胸像を日台友好の証に

3月25日に羽鳥重郎医学博士胸像のお披露目式典を開催。寄贈に対する感謝状を贈呈しました。胸像は台湾の許文龍さんが制作し、台座と合わせて3月に完成。風土病撲滅に貢献した羽鳥への感謝の気持ちを込めたそう。富士見公民館敷地内に設置してあります。



魅力伝える映像を審査

3月26日にシネマまえばしで、まえばしCMフェスを開催しました。応募のあった30作品から、一次審査を通過した10作品を映画監督の清水崇さんら審査員と来場者が公開審査。入賞した作品は今後、本市の魅力伝える映像として活用されます。

いきいき
まえばし人

NPO法人オーマイターリン
理事長

竹田君代さん・96歳

三河町一丁目

仲間と楽しく年齢を重ねる



高齢者サロンで仲間と共に介護予防に取り組む。開設のきっかけは自身が介護施設に入所した時に友人たちが開いたコンサートだ。サロンは毎週水曜日に開催。毎月1度、認知症の介護相談日では医師や看護師らのメンバーが相談に応じるなど、内容は多岐にわたる。自身も体調を見ながら毎週金曜の健康相談に参加している。

「ここへ来る皆さんは、人と会うことがいい刺激になっているの。毎週サロンで顔を合わせていると、みんな家族のような気分になるわね」
横浜で生まれ育ち、結婚後、夫の仕事の都合で前橋に住んで60年余り。人情に厚く、とても住みやすいまちだと感じている。
「高齢者だけでなく、子どもや子育て世代などとの交流を持つことも大切ね」と活動を広げることにも意欲的だ。また、高齢者や認知症を理解するきっかけになればと、今月23日には認知症の親の介護体験をつづった映画「ペコロスの母に会いに行く」の上映会も予定している。
「年齢を重ねることを前向きに捉え、みんな元気で長生きすること。それが一番ね」
そう微笑む竹田さんを慕い、今日もサロンには多くの人が集まる。

アーツ前橋の 舞台裏 vol.1



アーツ前橋の学芸員が美術館の舞台裏や自身のバックグラウンドなどを披露。第1回は今井朋が美術館グッズ制作を紹介します。

アーツ前橋
027・230・1144

アーツ前橋が開館して早3年。学芸員というと、皆さんはどんなことを思い浮かべるでしょうか。企画展の立案や広報、収蔵作品の管理、教育普及プログラムの企画など、仕事は多岐にわたります。

私の担当業務に美術館のグッズ製作があります。これには商品の他、館の案内パンフレットや年間スケジュールなどが含まれます。美術館に関心を持ってくださった人がさらに館のことを知るためのツ



ールともいえるものです。美術館併設のショップ「pmina」で購入できる一筆箋は、収蔵品の中から四季を感じさせる作品4点を選び、デザイナーと一緒に制作しました。

この春からは収蔵品のポストカード4種が店頭に並びます。私自身、美術館のポストカードには特別な思い出が。子どもの頃、家族で美術展に出掛けると必ずお気に入りの作品のポストカードを買ってきて、大切にファイリングし、自分だけの「空想美術館」を作っていたのです。

アーツ前橋に来たら、ぜひポストカードを手にとって、皆さんの「空想美術館」の仲間に入れてほしいと思います。

